

# 令和7年シラス曳網調査結果 (第2報)

令和7年5月2日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

5月1日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 8m)、141-05E(水深 28m)、  
141-10E(水深 37m)、141-15E(水深 53m)

## 3 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

12.1°C~13.5°C

### (2)シラス採捕数(図 1)

カタクチイワシシラスは採捕されませんでした。

コウナゴが 1 定点あたり 1~6 尾 (合計 10 尾、全長範囲 : 14.4~36.9mm) 採集されました。

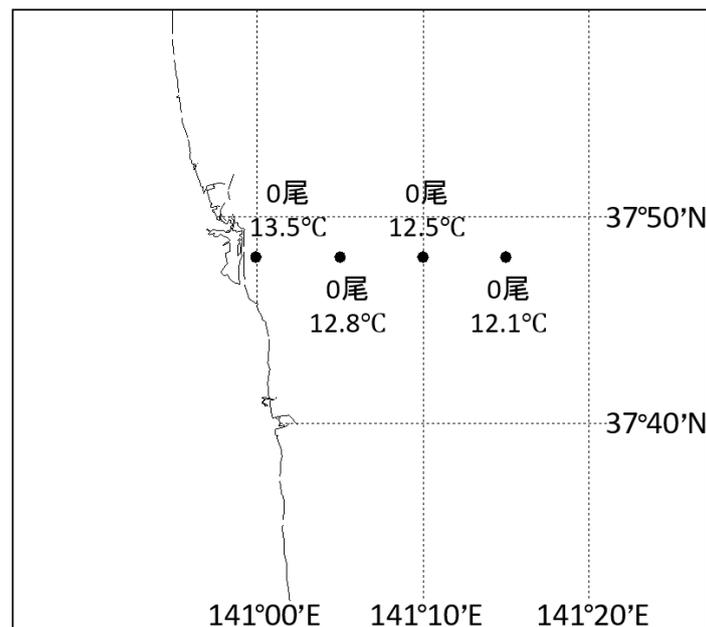


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)過去の調査結果との比較(図2、3)

令和7年5月のシラス採捕数は平成18年以降で最も少ない結果となりました(図2)。なお、福島県の年別シラス漁獲量を図3に示します。

今年は1月にいわき地区では約6t、相双地区では約36tの水揚げがありました。

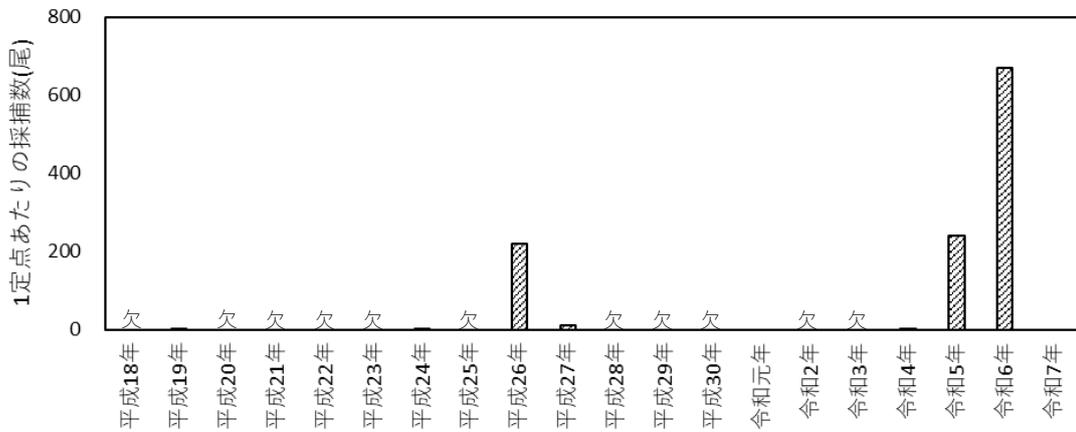


図3 相馬海域における5月の1定点あたりの採捕数

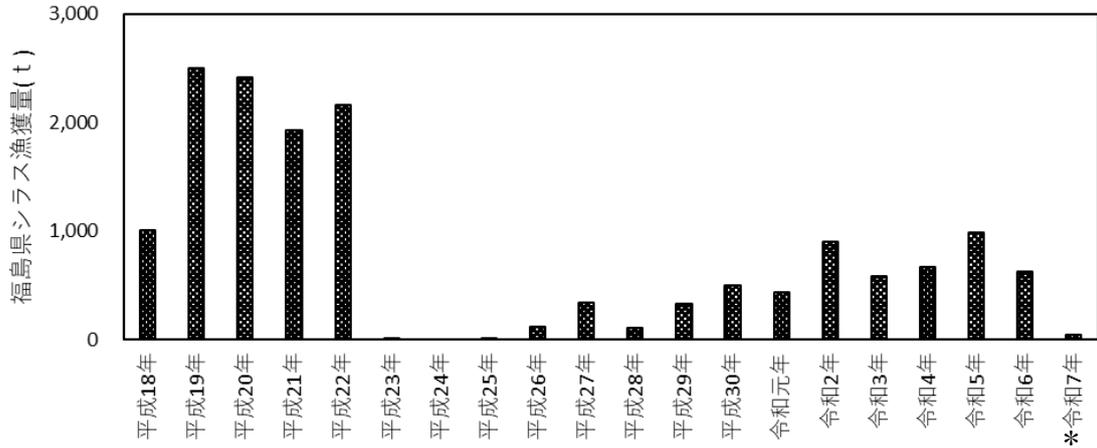


図4 福島県の年別シラス漁獲量

\*1月31日までの速報値